

1. A statistical analysis of almost 3,000 paintings of animals found in another cave in Spain suggests that the aggressive behavior of certain animals may have played a role in whether they were painted on cave walls.

(国際基督教大学)

【語句リスト】

statistical analysis:統計的な分析 cave:洞窟 aggressive behavior:攻撃的習性
play a role in A:Aにおいてある(何らかの)役割を果たす

2. Studies conducted on the patients who have suffered damage to a certain area of the brain indicate that while they can still recall memories stored before the brain was damaged, they are unable to remember new facts.

(福岡教育大)

【語句リスト】

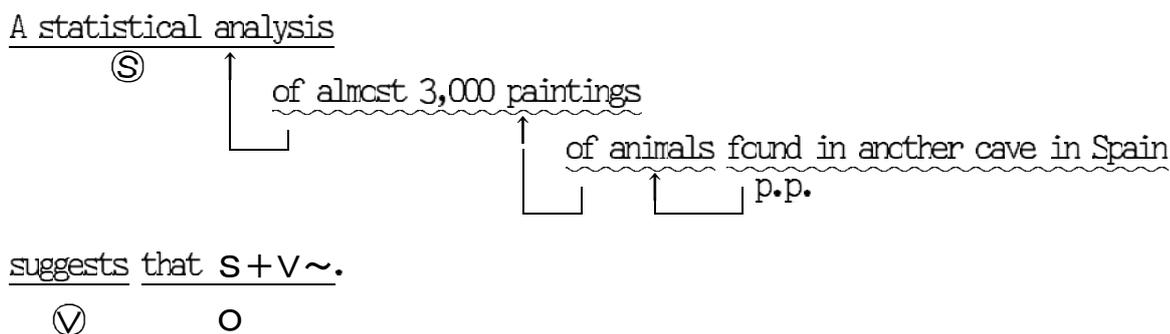
study:研究 conduct:～を行う a certain:ある～ patient:患者 suffer:苦しむ
recall:～を思い出す store:～を蓄積する、保管する

【解答&解説】

1.

【解説】

この英文の㊸は A statistical analysis、㊹は suggests、○は that節(that~walls)。全体構造はSVO。found は後置修飾の過去分詞 (LESSON BOOK REVIEW Rule-10 を参照せよ) なのだが、本問は、suggests が「一般動詞の現在時制」だったので、割と見抜きやすかったはず。



なお、suggests は「㊸=物事」、「㊹=that節」なので「示す」と訳せばよかった (LESSON BOOK REVIEW Rule-21 を参照せよ)。

また whether節は、in という前置詞の後ろにあるので「~かどうか」と訳せばよかった (LESSON BOOK REVIEW Rule-17 を参照せよ)。

【解答】

「スペインの別の洞窟で見つかったほぼ3,000の動物の絵画の統計的な分析は、ある種の動物の攻撃的な習性が、それらが洞窟の壁に描かれるかどうかは何らかの影響を与えたことを示している」

2.

【解説】

Studies が㊸、indicate が㊹、直後の that節が㊺のSVO構文。㊸が「物事」を表す名詞なので indicate は、「示す」と訳せばいい (LESSON BOOK REVIEW Rule-21 を参照せよ)。ちなみに study には「勉強(する)」「研究・調査(する)」「書斎」の3つの意味があることに注意。

構造分析をする上で間違えやすかったのは Studies 直後の conducted。これを㊹と読み間違えはしなかったらどうか。これが㊹ではない理由は LESSON BOOK REVIEW Rule-10 に基づいている。

1. 1つの節に動詞は1つだけ。

2. 同じ節内に「助動詞(+V [原形])」「be動詞」「一般動詞の現在時制」のいずれかがあったらそれがその節内の動詞だと判断せよ。

節内にはすでに indicate という「一般動詞の現在時制」があるのでこちらが㊹。ということは conducted は(動詞ではありえないのだから)可能性として過去分詞(の後置修飾)と考えざるを得ないわけだ。

$$\begin{array}{ccccccc} \text{Studies} & \text{conducted} & \sim & \text{indicate} & \text{that} & \text{S+V} & \sim. \\ \text{㊸} \uparrow & \boxed{} & & \text{㊹} & & \text{㊺} & \\ & \text{p.p.} & & & & & \end{array}$$

それから conduct が「～を行う」という意味だとわからなくても、この conducted on～が conduct A on B からきていることがわかればなんとかなる。なぜなら「V+ A on B」型の動詞は「AをBに与える」が基本 (LESSON BOOK REVIEW Rule-26 を参照せよ)。その受け身と考え、「who以下の患者に与えられた研究 → who以下の患者になされた研究」と類推すれば、なんとか訳にたどり着ける。

最後に that節内だが、「(接) S+V～, S+V…」の構造になっている。

$$\begin{array}{ccccccc} \text{while} & \text{they} & \text{can} & \text{still} & \text{recall} & \text{memories} & \text{stored} & \text{before} & \text{the} & \text{brain} & \text{was} & \text{damaged}, \\ & \text{S} & & \text{V} & & \text{O} & \uparrow & \boxed{} & & & & & \\ & & & & & & & \text{p.p.} & & & & & \end{array}$$

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{they} & \text{are} & \text{unable} & \text{to} & \text{remember} & \text{new} & \text{facts}. \\ & \text{S} & & \text{V} & & & \text{O} & \end{array}$$

while は「～だけれど、～の一方(で)」。stored は後置修飾の過去分詞。その理由は先

程と同じで、節内に「助動詞(+V[彫])」が既にあり、こちらをVとみるからだ。

【解答】

「脳のある領域に損傷を受けた患者に対して行われた研究で、そうした患者が脳の損傷を受ける前に蓄積された記憶は依然として思い出せる一方で、新しい事柄を思い出せないことがわかっている」